

浮羽まるごと博物館

エコミュージアム研究会 特別講演会

平田オリザ氏講演会

～演劇が人を育てるとのこと～

道の駅うきはの近くに円形劇場の遺跡があるのをご存じでしょうか？ これは大正時代にこの地で活動していた農村劇団「嫩葉（わかば）会」が地域の人々が集まる場として計画したものです。若者たちの演劇の活動を支援しようと、当時の山春村民総出で建設されました。

嫩葉会はこの地にとって何だったのか？

劇団員たち、そして村民たちにどんな影響を与えたのか？

そのヒントを現代演劇論の旗手、平田オリザ氏の講演から探ります。



© Tsukasa Aoki

講師 平田オリザ氏

劇作家。演出家。劇団「青年団」主催。こまばアゴラ座支配人。
東京藝術大学アートイノベーションセンター特任教授。1962年東京都生まれ。
対話劇を取り入れた教育プログラムの手法は中学校教科書にも採用され、
全国各地で演劇ワークショップを実施。
近著『幕が上がる』は映画化され、数多くの映画賞を受賞。



平成28年 **3月20日** (日曜日)
19:00 ~ 21:00

場所：**うきは市民センター**
(うきは市立図書館)
3階 小ホール



お問合せ：浮羽まるごと博物館協議会
(うきは市 ブランド推進課内 0943-75-3111)
<http://ukiha-maruhaku.sakura.ne.jp/db/>

